

## 熊本大学学術リポジトリ

### Kumamoto University Repository System

Title	懸賞号編輯の後に
Author(s)	小關
Citation	龍南, 195: 105-105
Issue date	1925-11-28
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/8825">http://hdl.handle.net/2298/8825</a>
Right	

## 懸賞號編輯の後に

相當のレベルに達したものを入選作として掲載しました。僅かの點數の差で、一等二等を區別するのは面白くないと思つたからです。

選者になつて下さつた諸先生には色々の御感想なり、御意見なり、ありませうが、それは近日催したいと思つてある批評會の席に譲るとして誌上には一々御批評を書いて貰ひませんでした。採點表も今度は發表しません。(辻)

應募、論文 五篇

創作 十二篇

詩歌 十七篇

と云ふ成績です。委員の病氣歸省のために不備であつたにも拘らず多數あつたことを喜びます。發表の形式はかくしましたが、近日選者の方に出席して戴いて批評會を行ふ積りにしてゐます。應募者は勿論、今までの龍南投稿者、有志の方も是非出席して戴きたく思ひます。渾然とした龍南文藝會を目論むてゐます。詳細は揭示しますこの號は私の病氣のために、主として辻君、他に高濱渡邊の三君に願ひしました。紙上乍ら選を願ひした諸先生及御

好意を示して下さつた松尾、長江兩先生に感謝申し上げます。本號の紙はラフです。

論文選者

竹内教授、小川教授、飯島教授

創作選者

八波教授、河瀬教授、上田教授

詩歌選者

藤森教授、上田教授

(小關)

# 紹介

先聲中村能二氏の長篇創作默示、一旦發賣を禁止されたが今度默示する人と改題、改めて出版された、新潮社から。